

早いもので、令和5年も残すところあと1週間ほどとなりました。皆さんは夏、秋、冬と3つの季節を駆け抜けた2学期をどう過ごしたでしょうか。2学期を振り返ると夏は記録的な猛暑でした。農作物への影響はもちろんのこと、授業や部活動等での熱中症対策にも苦労があったことと思います。

10月の置農祭は新型コロナウイルス感染症5類移行後の初の開催となりました。一般公開では模擬店や農産物販売、演劇部・吹奏楽部の発表などもあり、コロナ禍前を凌ぐ400人を超える来場者がありました。置農の魅力が十分に発信できた置農祭となりました。2年生の修学旅行もルールとマナーをしっかりと守った見学や行動で大変充実したのになりました。3年生は秋から就職試験や進学試験がありました。それぞれが努力を重ね、進路決定につなげることができました。

部活動ではホッケー部が全国高校選抜大会への出場を決め、演劇部は東北大会2年連続出場を決めました。農業クラブでは東北連盟大会や全国大会熊本大会への出場、そして先日行われた県プロジェクト発表会ではⅡ類、Ⅲ類での最優秀賞を受賞しました。お米甲子園金賞受賞や、高校生アイディアコンテスト最優秀賞受賞、台湾との交流事業など、様々な場面で置農生の活躍が見ることができ、大変うれしく思いました。

2学期の始業式で「目標を持って自分の可能性に挑戦」して欲しいという話をしましたが、2学期を振り返ると多くの置農生がこの目標に取り組んでくれました。これは大変素晴らしいことだと思います。

さて令和5年は間もなく終わりますが、世界に目を向けてみると今年は大きな出来事がたくさんありました。世界的な異常気象や自然災害、世界各地で起こっている武力紛争など予測もできないことが数多く起こりました。令和6年も予測ができない年になるかと思っています。この予測困難な時代の中で求められるのは、様々な変化に積極的に向き合い、仲間と協働して課題に向かうことや、様々な情報を収集、整理し、自分の知識を総動員しながら新たな考えにつなげていくことです。

令和6年はもう目の前です。新年にどのような目標を立て、どのような1年を過ごすのか、年末年始の時間を使ってしっかりと考えて欲しいと思います。年末年始の休みの期間中、事故に気を付け、怪我や病気をせず、充実した休みになるよう、様々な活動に積極的に取り組んでください。3学期の始業式で元気な皆さんの姿を見ることを楽しみにして、2学期終業式の式辞とします。